

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II (ファッション・健康スポーツ・ビジネス・医療事務・情報・観光・英語・フード・栄養) Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。 なお、第3回・第4回授業では、フィールドごとに作業の順序が異なる。詳しくは授業で説明する。				
学習の成果 (学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。学生時代に力を入れたこと(秋山)。(クラス別指導30分) 【課題1】夏休みの宿題回収			
第2回目	ビジネスマナー(※複数会場・複数教員での実施)。			
第3回目	マイナビ登録と活用法：WEB登録・説明会等のエントリーの仕方(学生支援委員)。※作業順序にフィールド別交替あり。(クラス別指導なし)			
第4回目	マイナビSPIの受験：SPI受験(学生支援委員45分)・クラス別指導(45分)。※作業順序にフィールド別交替あり。			
第5回目	様々な組織の理解(各フィールド教員によるオムニバス)。【課題2】今回の講義から学んだこと(次週、クラス担任に提出)。(クラス別指導なし)			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方(伊藤)。2年生の就職活動体験談(キャリア教育委員)。【課題3】履歴書の下書き(クラス別指導なし。ただし、会場で【課題2】を担当に提出する。)			

第7回目	履歴書の書き方（2）・面接試験の受け方（古川）。領域別2年生の就職活動体験談（領域・フィールド別指導30分）。 【課題3】履歴書の下書き（続き）。	
第8回目	社会人に必要な意識について（国分）。 （クラス別指導30分）	
第9回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会①（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題4】 （クラス別指導なし）	
第10回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会②（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題5】 （クラス別指導なし）	
第11回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会—キャリア講演会③（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題6】 （クラス別指導なし）	
第12回目	業界研究；キャリア・モデル学習—キャリア講演会④。（クラス担任・キャリア教育委員・学生支援課）【課題7】 （クラス別指導なし）	
第13回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人とのつきあい方（秋山）。（クラス別指導30分）	
第14回目	内定辞退の対処法と内定礼状および今後の就職活動に向けて（学生支援委員・クラス担任）。（クラス別指導40分）	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ）。まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（秋山）。（クラス別指導30分）	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題3は履歴書の下書きとし2週に亘って課す。課題5～7は、キャリア講演会の感想文とする。課題提出の〆切は全体指導あるいはクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II (社会福祉) Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果 (学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。学生時代に力を入れたこと(秋山)。 (クラス別指導30分) 【課題1】夏休みの宿題回収			
第2回目	ビジネスマナー(※複数会場・複数教員での実施)			
第3回目	フィールド別指導：学生との面談①			
第4回目	フィールド別指導：学生との面談②			
第5回目	様々な組織の理解(各フィールド教員によるオムニバス)。【課題2】今回の講義から学んだこと(次週担任に提出)。 (クラス別指導なし)			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方(伊藤) 【課題3】 (フィールド別指導30分)			

第7回目	履歴書の書き方（2）・面接試験の受け方（古川）【課題3】履歴書の下書き（続き）。 （フィールド別指導30分）	
第8回目	社会人に必要な意識について（国分）。 （フィールド別指導30分）	
第9回目	業界研究；キャリア・モデル学習ーキャリア講演会①（卒業生）【課題4】。 ※介護福祉フィールドと合同（クラス別指導なし）	
第10回目	業界研究；キャリア・モデル学習ーキャリア講演会②（施設長・人事担当者）【課題5】。 ※介護福祉フィールドと合同（クラス別指導なし）	
第11回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会ーキャリア講演会③（本学教員）【課題6】。 ※介護福祉フィールドと合同（クラス別指導なし）	
第12回目	業界研究；キャリア・モデル学習ーキャリア講演会④（2年生の就職活動体験談）【課題7】。 ※介護福祉フィールドと合同（クラス別指導なし）	
第13回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人とのつきあい方（秋山）。 （フィールド別指導30分）	
第14回目	内定辞退の対処法と内定礼状および今後の就職活動に向けて（学生支援委員・クラス担任）。 （フィールド別指導40分）	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ）。まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（秋山）。 （フィールド別指導30分）	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。メ切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題3は履歴書の下書きとし2週に亘って課す。課題5～7は、キャリア講演会の感想文とする。課題提出のメ切はクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育 II (介護福祉) Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特にクラス担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気遣いながら自分の思いを伝えるようにする。 ⑤就職活動に際し、そして社会人になってから役立つような基礎的技能や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気づいたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果 (学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 (3)就職するための技能を身につけ、実行できる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。学生時代に力を入れたこと(秋山)。 (クラス別指導30分) 【課題1】夏休みの宿題回収			
第2回目	ビジネスマナー(※複数会場・複数教員での実施)。			
第3回目	フィールド別指導:学生との面談、高齢者の生活背景を考える学習(グループワーク)。			
第4回目	フィールド別指導:高齢者の生活背景を考える学習(発表会)。			
第5回目	様々な組織の理解(各フィールド教員によるオムニバス)。【課題2】今回の講義から学んだこと(次週担任に提出)。 (クラス別指導なし)			
第6回目	エントリーシート・履歴書の書き方(伊藤) 【課題3】履歴書の下書き。 (クラス別指導30分)			

第7回目	履歴書の書き方（2）・面接試験の受け方（古川）。【課題3】履歴書の下書き（続き）。 （クラス別指導30分）	
第8回目	社会人に必要な意識について（国分）。 （クラス別指導30分）	
第9回目	業界研究；キャリア・モデル学習ーキャリア講演会①（卒業生）【課題4】。 ※社会福祉フィールドと合同（クラス別指導なし）	
第10回目	業界研究；キャリア・モデル学習ーキャリア講演会②（施設長・人事担当者）【課題5】。 ※社会福祉フィールドと合同（クラス別指導なし）	
第11回目	業界研究；企業等の人事担当者講演会ーキャリア講演会③（本学教員）【課題6】。 ※社会福祉フィールドと合同（クラス別指導なし）	
第12回目	業界研究；キャリア・モデル学習ーキャリア講演会④（2年生の就職活動体験談）【課題7】。 （クラス別指導なし）	
第13回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人とのつきあい方（秋山）。 （クラス別指導30分）	
第14回目	フィールド別指導（高齢者への楽しみの支援：発表会）。	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ）。まとめ：今までの振り返りと今後に向けて（秋山）。 （クラス別指導30分）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、自己を振り返り、自分の進路に対する方針を定めること。私語をしないで、マナーを守り、課題やレポートを必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で講義資料を受け取ること。レポート課題3は履歴書の下書きとし2週に亘って課す。課題5～7は、キャリア講演会の感想文とする。課題提出の〆切はクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅱ(児童) Career Education II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
(主) 秋山真奈美、全専任教員、特に担任	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職に関するガイダンスやワークを行いながら、キャリア講演会を通して社会から期待される人材像を具体的に理解し、自己のキャリア目標を実現するためにどうすれば良いかを学ぶ。特に、職務遂行に求められるコミュニケーション能力、職業生活理解力、進路実現のための認識やスキルを高めることを目指す。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて自分の課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②業界研究を通して、職業に関わる価値観や役割等を理解し、築いたイメージを言語化できるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを考え、言語化できるようにする。 ④社会人に必要な基礎能力として、相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えるようにする。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。キャリアに関する講演会・反省会・討論会も行う。				
学習の成果(学習成果)				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)職務遂行の必要条件として、他者とより良くコミュニケーションできる。 以上により、主体的に就職活動をして進路を実現することができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション。学生時代に力を入れたこと(秋山)。 (クラス別指導30分) 【課題1】夏休みの宿題回収			
第2回目	ビジネスマナー(※複数会場・複数教員での実施)。			
第3回目	専門職のために準備すること(松崎)。 (クラス別指導40分)			
第4回目	公務員試験対策、書類の準備と電話のかけ方(大塚・秋山)。 (クラス別指導30分)			
第5回目	業界研究；キャリア講演会①(幼稚園園長・児童養護施設施設長)(司会：1年担任)。(クラス別指導なし)			
第6回目	フィールド別ガイダンス：教育実習オリエンテーション(司会：1年担任)、幼稚園実習巡回指導担当者別指導。【課題2】			

第7回目	フィールド別ガイダンス：保育実習オリエンテーション（司会：1年担任）、保育園実習巡回指導担当者別指導。【課題3】 （クラス別指導なし） ※教育実習中のため1月下旬以降に補講。	
第8回目	フィールド別ガイダンス：教育実習反省会等（クラス別指導40分、実習担当者別指導40分）。	
第9回目	業界研究；キャリア講演会②（卒業生）（司会：1年担任）。【課題4】（クラス別指導なし）	
第10回目	業界研究；キャリア講演会③（保育園園長・障害者施設施設長）（司会：1年担任）。【課題5】（クラス別指導なし）	
第11回目	履歴書の書き方（秋山）。【課題6】 （クラス別指導30分）	
第12回目	2年生の就職活動体験談（司会：1年担任）。【課題7】 （クラス別指導30分）	
第13回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方（秋山）。 （クラス別指導30分）	
第14回目	面接試験の受け方（松崎）。 （クラス別指導30分）	
第15回目	キャリア・カウンセリング（小竹ヒ）。まとめ：今までの振り返りと今後へ向けて（秋山）。 （クラス別指導30分）	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられることが期待される。
レポート	70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房：前期に購入済み）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取ること。		